

しんわ クリーンサービス

快適な生活のお手伝い
 生活便利アドバイザーを
 目指しております



↑ クリーンサービスの
 スタッフです



介護保険のサービス以外で、
 お困りのどんなことでもお手伝いします

(株)しんわがお客様との繋がり信頼関係を築き地域密着型のサービス業務『しんわクリーンサービス』を展開しています。
 日常生活で『困った』『忙しい』『面倒』な時にはご相談ください。しんわクリーンサービスへの依頼が始めての方へも、丁寧に対応いたします。介護とあわせて総合的なサービスを提供し、信頼、安心、笑顔をモットーに、実りある心の満足をお届けします。

サービスの一例 ↓

掃除・草刈・伐採	ハウスマンテナンス
<ul style="list-style-type: none"> ・ハウスクリーニング ・不用品の片づけ ・家具の移動 ・草刈 ・伐採 ・ガーデニング 	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー工事 段差 手すり 浴室 レスキューベランダ ・住まいのリフォーム 駐車場増設 住宅増築
害虫駆除と消毒	その他小工事
<ul style="list-style-type: none"> ・蜂の巣駆除 ・茶毒蛾の駆除 ・シロアリ駆除 ・ネズミ駆除 ・感染症などの対応 ・消毒 	<ul style="list-style-type: none"> ・電気器具や電球の取替 ・ペンキ補修 ・雨樋修理 ・畳の表替・取替
	緊急対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・水漏れ ・台所・トイレのつまり

この他どんな事でもまずはご一報を・・・。
 専門の担当者を派遣し出来る限りご希望にそえるようにいたします。相談・状況を確認後のお見積もりは無料です。お気軽にお問い合わせ下さい。

上記のことでのご相談は下記まで・・・

〒238-0012 横須賀市安浦町3-17

電話 :046-828-5030

F A X :046-828-5025

<http://www.shinwafukushi.com>

しんわクリーンサービス 担当：堀川



「古民家鑑定士」 石川勝彦 1966年生まれの44歳

全国で鑑定士数は7人。そのうちの一人が石川氏。リフォーム業を主に手がけています。

記事の内容によると古材を内装に生かし、築百年の黒光りする栗の木の柱を、しっくい白壁に組み合わせた。「削り跡のある木肌が新しい木材にはない魅力。」とのこと。

週刊 首都圏 古民家リサイクル市場化

放っておけば解体されて消える運命にある古民家を鑑定し、これまでゴミにされていた部材に値を付けて売却する動きが首都圏で広まっている。建物そのものをリフォームして公共的な施設などとして活用する例もある。古民家の保存や再生を促すには文化的価値を訴えるだけでなく市場価値を見いだす必要があるという思想が根底にある。

(小山 謙太郎)

5月下旬、東京都豊島区にある築80年の木造住宅に、古民家鑑定士らが集まった。持ち主の川崎隆子さん(56)の依頼を受け、鑑定士の実地講習を兼ねて鑑定に訪れたのだ。

「床下の礎石はとけてしまっている」「柱の太さは110センチ、細めかな」「ガラス戸がすべて残っているのはいね」

ベテラン建築士らが新米鑑定士たちに助言しながら、懐中電灯や巻尺を手に、3時間かけて建物の坪の空き家を調べた。礎石は床下などの基礎、柱や屋根裏の構造、水回りなど480項目に及んだ。

半月後、川崎さん宅に鑑定書が届いた。家丸ごとの鑑定額は270万円。固定資産税の評価額33万円より高い値がついたが、実際に売買するとすると水回りなどの改修費用がかさむという。ただ、柱などに使われている伝統的な資材の再利用は可能で、その買い取り額は30万円ほどで出た。「祖母やおばが住

んでいた思い出のある家。簡単に壊すには惜しなかった。材木や建具を大切にリサイクルしたい」と川崎さんは喜んだ。

「古民家鑑定士」という資格をつづけたのは、松山市で材木会社ウインテージアイモクを営む井上幸一さん(48)。古民家に単なる中古住宅以上の価値を見いだせる人を育てたかったと話す。昨年認定が始まり、すでに建築士や解体業者、古民家愛好家ら800人以上に達した。

建材や工法が工業化される前、つまりおおよそ1950年以前に伝統工法で建てた古民家

は、解体しても木材を組み直せば再利用できる。長い年月をかけて既使した古い材木(古材)はものによっては新しい木材より強い。曲がり具合や木肌の削り跡には規格品にはない味がある。だが、持ち主の代替わりを契機に次々と解体されており、2008年までの10年間に全国では45万7千戸、東京都内では1万5千戸が壊れた。いずれも2割の減少だ。古材も大半は産業廃棄物として処分されている。

「木は70年かけて育つ。家が30年であることゴミになったのでは、森林は減る一方だ」と井

上さんは危ぶむ。もったいない材を流させたい。そのためには適正価格をつけて市場を生み出す必要がある。鑑定士の仕組みを作ったのはそう考えたからだ。

自身の会社も古民家や古材を扱う店をフランチャイズ展開し、現在104店舗。2年前に3億円だった売上高は現在は20億円に拡大している。

古材には内装として生かす道もある。群馬県伊勢崎市でリフォーム業を営む鑑定士の一人、



古民家鑑定士の研修。「雨どいが外れている。雨漏りの可能性があるね」とベテラン建築士が解説した。5月、東京都豊島区雑司が谷3丁目、小山写す

「ここ2、3年、都市近郊の古民家をリフォームして移住する人が多い」。NPO法人日本民家再生協会(本部・東京)の会幹事長(44)は話す。田舎暮らしブームや、ネット取引によって物件が一般の人の目に留まるようになったことが背景にあるという。

同協会は古民家の専門家や愛好家を全国1500人の会員を持つ。無償譲渡の物件を紹介する「民家バンク」を持ち、電話相談も受け付けている。

「削り跡のある木肌が新しい木材にはない魅力。落ち替いた空間になりました」とオーナーの古澤恵さん(48)。石川さんは「4段の栗の柱や梁なら1本4万6000円と、新しい木材より安く買える。価格も統一されてきています」と説明する。

東京	65,500(1.1)	神奈川	39,500(1.1)
長野	49,700(6.6)	埼玉	36,600(1.4)
千葉	46,700(2.0)	群馬	35,800(4.9)
静岡	43,800(2.0)	栃木	26,300(3.7)
新潟	42,600(5.3)	富山	22,000(6.0)
茨城	40,800(3.9)	山梨	18,700(5.9)

※1950年以前に建てられた住宅を古民家とした。カッコ内は都県内の住宅総数に占める割合(%)。総務省「住宅・土地統計調査(2008年)」から

地域の施設として再生

この相談から生み出された古民家が、東京都西東京市にある。150年前に北條から移築された地主の家。相続した5人が協力を訪ねたが、住宅としては大規模で、活用の道がなかなか見つからなかった。

設計事務所を営む会長の山田聖夫さん(39)は「これは後世に残すべきだ」と考え、自ら手を挙げた。運営会社をつくらせて土地と建物を借り、1200万円かけて老人介護のデイケアセンターと学習保育の施設に改装改修。昨年、「和のいえ・桜井」として開館させた。

大い業と縁のある日本家屋。他の施設とはつきり差別化でき、利用客を呼び込めると考えた。普段はお年寄り子どもたち15人が利用し、休日は地域活動の場になっている。

「利用者の多い都市部から選べた方法です」と山田さん。今後、首都圏の他の地域でも同様の事業を模索する。「いくらか文化的価値があっても、保存や再生を実現するには経済的価値を見いだすことも大切で

す。」

(森ペン) 横須賀市議会報告

今回は例年おこなっている自民党の勉強会の報告をします。

7月12日(月)～15日(木)の4日間市長と16部局についておこないました。
主なことは次の通りです。

政策推進部

定住促進事業・広報紙の見直し(広報よこすかお知らせ版を広報よこすかに統合)

総務部

指定管理者制度の取組み(選考委員会の原則公開・選考基準の標準例・承認料金制度導入の検討)

財政部

未利用地現状と今後の処分予定地・最低制限価格の変更・入湯税の導入

市民安全部

防災行政無線デジタル化移行・災害時要援護者への支援

市民部

行政センター等の耐震化、バリアフリー化の状況・地域運営協議会設置検討・外国人住民基本台帳法

健康福祉部

火葬場集約統合・市民病院の医療体制・住宅手当緊急特別措置事業・横須賀地域包括支援センター(直営)廃止・自殺対策推進事業

こども育成部

児童福祉施設の整備

環境部

新ごみ処理施設建設に関する地元住民への説明・ごみトークの全町内会等での実施

経済部

電気自動車の普及促進・商業支援対策・地産地消推進対策・観光集客事業・新産業ビジョンの策定

都市部

追浜駅前再開発・宅地耐震化・市営住宅ストック総合活用(市営住宅の地上デジタル波対応)

港湾部

防衛施設の集約統合・北下浦漁港海岸浸食対策の計画変更

消防局

湘南国際村出張所建設

教育委員会

諏訪小学校の建替工事

選挙管理委員会

23年統一地方選挙

最後に・・・

市長は救急医療センター移転をいろいろな角度から近いうちに判断する見込み。

財政がかなり厳しい状況なので来年度の予算を組む際には、自民党としてはひとつひとつじっくり検討し要求をしていきたいと思ひます。



しんわグループで9月1日スタートします

お知らせ

ピノキオ保育ランド

保育園児募集

就労の有無に関係なく どなたでも入園できます

お母さんの子育てとお仕事の応援をしています。
困った時、いつでも入園の申込みを受け付けています。

受入れ年齢

6ヶ月から小学校入学前まで(0歳から5歳)
一時保育可能です。



連絡先

横須賀市安浦町3-43-17

電話：046-854-4990